

Lesson4 名詞と限定詞 Exercises (P27)

解答・解説

赤→解答

黄色のハイライト→解説

緑のハイライト→補足事項

[1] 日本語の意味に合うように、() に適語を入れなさい。

1. 父はエンジニアで、自動車会社で働いています。

My father is (an) (engineer) and works for (a) (car) (company).

*engineer と car company はどちらも可算名詞なので、不定冠詞 (an/a) を付ける

2. そのイベントに関する情報は何か見つかりましたか。

Did you find (any) (information) about (the) (event) ?

*information は不可算名詞。「情報は何か」の「何か」は、疑問文や否定文で「いくらかの」を表す「any」を使う。「そのイベント」は特定できるものなので「the」を付ける

3. もっとケーキを召し上がりませんか。

Would you care for (some) (more) (cake) ?

→some・more

*切り分けるケーキは不可算名詞の扱いをする。疑問形ではあるが、ある程度の量がある場合には「some」を使う

4. 私は学校の図書館からこの本を借りました。

I borrowed (this) (book) from (the) (school) (library).

*どの学校の図書館なのかが分かると判断されるので、「the」を付ける

5. スタッフのメンバーはそれぞれ、自分の得意分野を持っています。

(Each) member of the (staff) has his or (her) own specialty.

*each+名詞の単数形。動詞の部分が「has」になっていることにも注目する。

[2] 日本語の意味に合うように、空所を埋めて英文を完成させなさい。

1. 今朝の朝食は、パンと牛乳でした。

I had (some) bread and milk for breakfast this morning.

*bread も milk もどちらも不可算名詞なので複数形にしないこと。ある程度の量を表す「some」を付けてもよい。breakfast は通常、冠詞(a/an/the)を付けない。

2. 寝る前に宿題をしなければなりません。

I have to do my homework before going to bed .

*go to bed で「就寝する」の意味。bed そのものをイメージしているわけではないので冠詞は使わない

3. 新鮮な空気が入ってくるように、窓を開けてもらえますか。

Can you open the window(s) so we can get some fresh air ?

*会話文として、どの窓か聞き手にも判断できるので「the」を付ける。air は不可算名詞。some air は一定量の空気。

4. その競技場を建設するのに、どのくらいのお金と時間がかかりますか。

How much money and time will it take to construct the stadium?

* **money** と **time** は不可算名詞。時間とお金について尋ねるときは **how much ~?** で聞く

5. これらの温室を照明するには、たくさんの電気が必要です。[**greenhouse**]

A lot of electricity is needed to light **these greenhouses**.

* 「**electricity**」は不可算名詞なので、「たくさんの電気」と表現する場合は「**a lot of**」を使う。「温室」の意味の「**greenhouse**」は可算名詞

6. 手荷物はいくつお預けになりますか。[**piece / luggage**]

How many pieces of luggage do you want to check in?

* **luggage** は不可算名詞。「いくつの荷物？」と疑問文で尋ねる場合は「**how many pieces of luggage ~?**」と、「**pieces**」を複数形にして尋ねる

[3] [] 内の語句を使って、日本語の意味に合う英文をつくりなさい。

1. 妹はうちの裏庭で子猫を見つけた。[**kitten / backyard**]

My sister found a kitten in our backyard.

* 特に「何匹」との情報がないので「**1** 匹の子猫」とであると推測する。なので、不定冠詞の「**a**」を付ける。

2. 結果は電話かメールでお知らせいたします。[**we / inform / of**]

We will inform you of the result by phone or (by) email.

inform A of B 「AにBを知らせる」

* 「結果」は話してと聞き手の共通認識のもと考えられるので冠詞の「**the**」を必ず付ける。「電話かメールで」と、手段を表す場合は冠詞を付けない

3. 何かお手伝いすることが必要でしたら、連絡してください。[**assistance / contact**]

If you need any assistance, please contact us(me).

do not hesitate to contact us / feel free to contact us でも ok

* 「**assistance**」は不可算名詞なので複数形にしないこと。「**contact**」は他動詞なので「**contact with us**」としないこと！

4. 彼はグラスを2つと水を1本持って来た。[**bring / bottle**]

He brought two glasses and a bottle of water.

* 水は不可算名詞なので「水を1本」と表現する場合は「**a bottle of water**」とする

5. 玄関では靴を脱いで、中ではスリッパを履いてください。[**wear / inside**]

Please take off your shoes at the entrance and wear slippers inside.

脱ぐ ⇨ **穿に付ける (put on)**

* 「あなたの靴」なので、所有格の「**your**」を付けること。「玄関」は双方の共通認識のあるものなので「**the entrance**」と冠詞をつけること。「**shoes**」と「**slippers**」は通常複数形で表す

6. どの国にもその国特有の文化と独自の習慣があります。[**have / own / unique**]

Every(Each) country has its own culture and unique customs.

* 「どの〜も」は **every(each)** + 単数名詞で表現する。「**custom**」は可算・不可算名詞のどちらでも使われるが、1つの国でも様々な習慣があるので、ここでは複数形を用いる。同じ「習慣」の意味を持つ「**habit**」は、個人的な習慣の場合に使われる単語なので、ここでは「**custom**」を使う